

## ○大学卒程度社会福祉専門試験問題例

(社会福祉学)

第1問 重層的支援体制整備事業の概要について述べなさい。

第2問 次の二つの用語について説明しなさい。

(1) 住宅確保要配慮者

(2) ソーシャルワークにおけるアセスメント

(社会学)

第1問 次のA～Dの社会学の概念の中から一つを選び、(1) その概念の意味や関連する研究について説明した上で、(2) その概念にかかわる現代の社会現象・社会問題を取り上げ、その概念を用いながら、あなたの考えを論じなさい。答案用紙の冒頭にA～Dの記号を付けること。

A. アーバニズム

B. 顕示的消費(誇示的消費)

C. メリトクラシー

D. 役割距離

第2問 以下は、質問紙調査のための質問文である。この質問文について、社会調査法の観点からみて修正すべき点を指摘した上で、質問文の修正案と選択枝の案を考えて答えなさい。

・あなたは、若い女性がたばこを吸ったり、お酒を飲んだりすることをどう思いますか。

第3問 居住地域が投票行動に影響を与えるという仮説を検証したい。標本調査によって次の結果が得られた(仮想例である)。

・都市居住者のうち、198人が候補Aに投票し、63人が候補Bに投票し、89人が棄権だった。

・農村居住者のうち、145人が候補Aに投票し、81人が候補Bに投票し、24人が棄権だった。

(1) 仮説を検討するのに適した百分率(%)クロス集計表を作成し、そこから読み取れる関係について述べなさい。

(2) (1)で述べた関係の有無を判定するために用いられる統計的な方法について説明しなさい。なお、実際に、その方法を用いて関係の有無を判定する必要はありません。

(教育学)

第1問 現在、社会が格差社会化しているということも言われていますが、学歴・教育上の到達度における差異が格差を生み出す一因となっていると考えられます。この学歴・教育上の到達度の差異が生じる要因について、文化的要因にも具体的に触れながら、説明しなさい。

第2問 人生100年時代、超高齢社会と言われ、高齢者の学習の促進が重要な課題となっています。そのためには潜在的なものも含めて、高齢者に関わる多様な学習上、教育上のニーズについて理解することが重要ですが、高齢者の学習ニーズ・教育ニーズにはどのようなものがあるか説明しなさい。

(心理学)

第1問 情動に関する学説として、ジェームズ・ランゲ (James-Lange) 説、 Cannon-Bard (Cannon-Bard) 説が知られる。この2つの学説について説明しなさい。

第2問 以下に挙げる(1)～(3)の事項すべてについて、説明しなさい。

(1) 色覚の三原色説と反対色説

(2) ヤーキーズ・ドッドソン (Yerkes-Dodson) の法則

(3) ピアジェ (Piaget, J.) の発達理論における自己中心性